

## <経営戦略の改定にあたって>

高槻市の自動車運送事業（市営バス事業）は、昭和 29（1954）年 2 月 25 日に営業を開始し、隣接自治体との合併による市域の拡大や企業誘致に伴う工場立地、高度経済成長期のベッドタウン化に伴う人口急増に対応する等、「動く市道」として大きな使命を担ってきました。

このような中、高槻市を取り巻く様々な課題に的確に対応しつつ、より安全で快適な輸送サービスを追求し、持続・発展させるため、「令和 2 年 12 月」に新たな 100 年の歴史への幕開けとなる「高槻市営バス経営戦略」を策定し、高槻市の「みらい創生」に取り組んできました。市営バス事業を取り巻く環境は、コロナ禍を経て、乗合収入は徐々に回復傾向にありますが、それを上回る諸物価並びに人件費の高騰による収支の悪化、2024 年問題に起因する運転士不足など、大変、厳しさを増している状況です。

このような経営環境の変化を踏まえ、総務省から全国の公営企業に対して令和 7 年度中に経営戦略の改定を要請されていること等から今回の改定に至ったものであり、改定にあたっては、令和 6 年度に利用者アンケート調査を実施するなど、お客様のご意見も十分に把握しながら検討を行い、今般、改定版として発刊することになりました。

本改定版は、令和 12 年度までの経営方針やそれを実現するための具体的な取組等を定め、自立経営の徹底による戦略的な経営を推進しつつ、府内唯一の公営バス事業者として、本市の未来や魅力を創造する市営バス事業を実現しようとするものです。

私たち高槻市交通部職員は、高槻市民をはじめとする「みなさまの公共交通」として、課せられた使命を自覚し、本戦略の目標達成に向けて全力で取組を進めてまいります。